

古写真から見る
『和束の小学校』の
うつりかわり



はじめに

和東町史編さん室では、令和3年度から4年度の2ヶ年、住民の皆さんと共に明治から平成までの写真を集めて写真集を作成しました。

これは編さん事業の大きな役割でもある「和東の歴史に対する町民の理解・関心を高める」ことを目的に実施したもので、写真の募集や編集の協力を呼びかけたところ多くの方の関心を得、最終4人の皆さんにお願いすることになりました。

また、令和4年が日本で最初に小学校ができた明治5年から数えて150年目となる記念の年でもあり、テーマを「古写真から見る『和東の小学校』のうつりかわり」とし、教育委員会で保管している旧4小学校の記念写真や研究発表会での資料、そして、皆さんから寄せられた写真を基に編集することになりました。

なにぶんコロナ禍で思うような作業はできませんでしたが、協力いただいた皆さんが1枚1枚写真を選別し、学校ごとに整理してやっと完成することができました。

皆さんのご家庭にはまだまだ貴重な写真や資料が残されています。足りない分は皆さんお持ちの写真で補っていただき、それと合わせて御覧いただければ幸いです。

この冊子で私たちの和東町の昔と今を小学校の歴史を通じて体感していただければ幸いです。

令和5年3月

相楽東部広域連合教育委員会
和東町史編さん室

目次

はじめに	01
1 和東の小学校のうつりかわり	02
2 位置図（和東小学校と旧4小学校）	02
3 西和東小学校	03～13
4 中和東小学校	14～24
5 東和東小学校	25～35
6 湯船小学校	36～46
7 各種資料	47～50

小学校制度の変遷 4小学校の歴史と小学校区の変遷図
おわりに 写真等提供者・協力機関・協力者

表紙……昭和以前の4小学校の校舎（写真は左上から下へ西和東小・中和東小、右上から下へ東和東小・湯船小）
で、真ん中の校章は和東で最初の学校「釜塚校」のものです。
裏表紙……グラウンドから見た校舎（令和5年3月）

和束の小学校のうつりかわり

日本の近代学校制度は、明治5年（1872）8月に公布された学制に始まります。

これをうけて、和束では、明治6年（1873）5月に、最初の学校、釜塚小学校が開設されます。和束全体を通学圏としていました。

場所は、大字釜塚小字生水 25 番地、昭和 28 年（1953）の南山城水害で使えなくなるまで中和束小学校があったところです。現在の和束町役場付近になります。

設置当初は、通学に時間がかかるころでは、それまでの寺子屋が、分校として使用されたようです。

その後、各地区で次々と小学校が設置されていきました。次第に整理され、明治 20 年（1887）に、西和束尋常小学校、釜塚尋常小学校、園村尋常小学校となり、湯船校は園村校の分教場になりました。

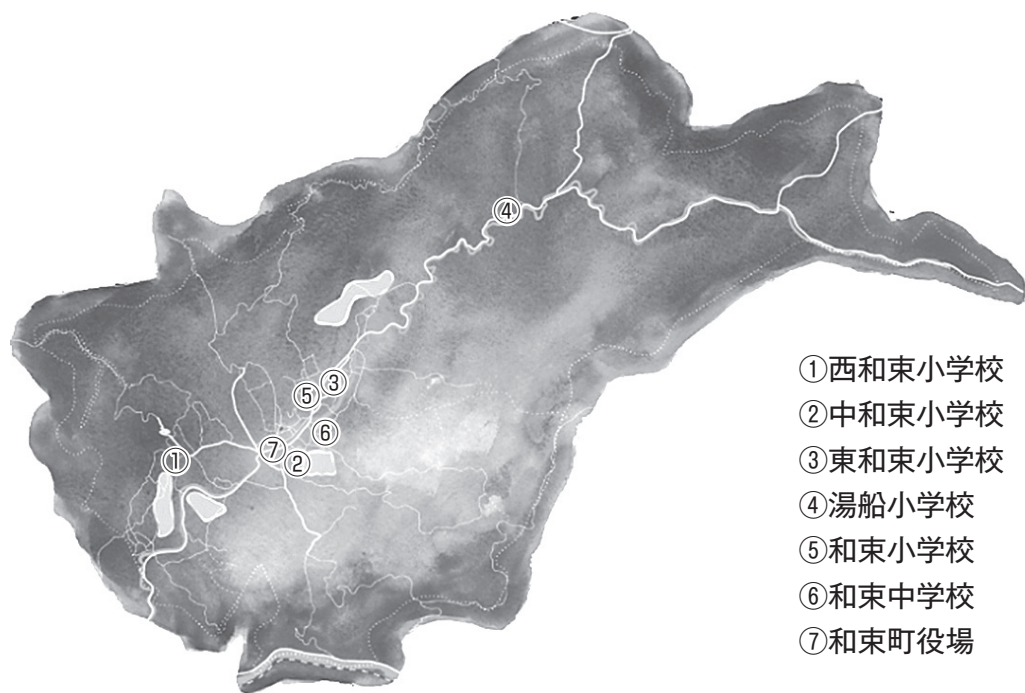
明治 22 年に園村校が東和束尋常小学校に改称し、湯船分教場が湯船尋常小学校となりました。釜塚校は、明治 25 年に中和束尋常小学校と改称します。

その後は、尋常高等小学校、国民学校、小学校と名称の変更はありましたが、この 4 校体制が続きます。

そして、平成 4 年（1992）4 月に、4 校は、現在の和束小学校に統合されました。

※詳しくは、「7 各種資料」をご覧ください。

学校位置図（和束小学校と旧 4 小学校）



- ①西和束小学校
- ②中和束小学校
- ③東和束小学校
- ④湯船小学校
- ⑤和束小学校
- ⑥和束中学校
- ⑦和束町役場

西和束小学校



和束町大字白栖小字幸之栖 21 番地

校歌（昭和四十一年三月制定）

作詞 籠島 亀一
作曲 川上 よしかず

一、湯谷の山かげ朝日に仰ぎ

和束川瀬の音清らかに

窓も明るい

学び舎で

知識を磨き

技を練り

伸びる西和束小学校

二、まるい茶園の芽に吹く風は

香り豊かに心に通う

誇る歴史の

学び舎で

心を広め

身を鍛え

進む西和束小学校

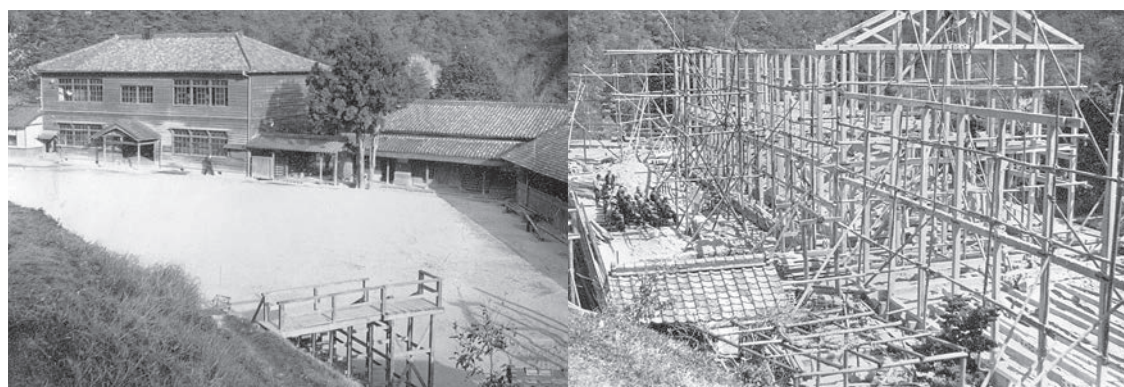
大正6年3月

西和東尋常高等小学校卒業記念写真です。大正7年、大火により焼失しています。



昭和31年9月

右側の校舎が改築されました。講堂と6教室の増築工事です。



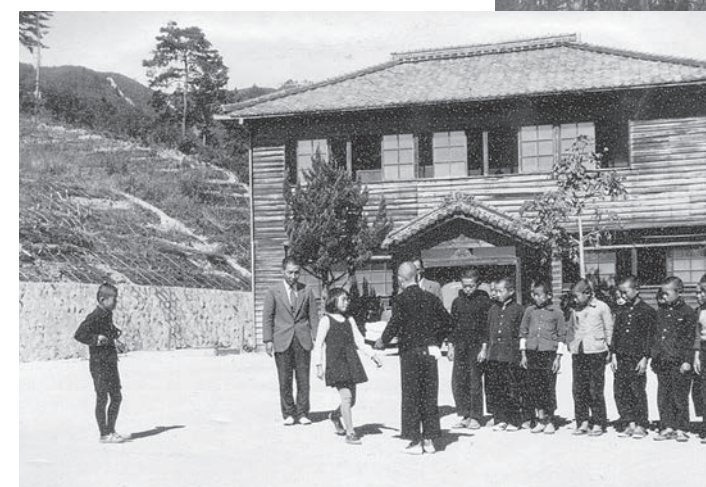
昭和31年10月

校舎の改築を祝って祝賀運動会が開催され、3・4年生の女子が「お花をかざして」を踊りました。



昭和28年8月

西谷川に架橋していた西谷橋が南山城水害のため流失。西和東小学校から中和東へ行けなくなり、育友会の皆さんが復旧工事をしました。



昭和28年9月

相楽小学校から水害見舞いがあり、慰問品の贈呈がありました。

昭和29年5月

学校茶園で子どもたちによる茶摘みが行われました。





昭和30年3月
卒業生と保護者による学校林の奉仕作業のようすです。



長井遊園地
区民総出の労働奉仕で立派な遊園地を造り上げました。（昭和33年1月13日付京都新聞）



近くの川を堰き止めた仮設プールが子どもたちの水泳場所でした。



昭和41年7月
川に仮設プールが設置された時のようすです。
場所は、長井・通学橋・撰原・高橋の4カ所で、川底さらえや安全水域の標識を立てていました。



保護者が水泳監視の小屋作りをしています。川では子どもたちの泳ぐ姿が見えます。



昭和47年
簡易プールが完成しました。
(写真は平成3年のもの)

※学校のプールができるまでは、近くの川を堰き止めた水遊び場を「仮設プール」としていました。昭和47年に西・東和東小に、翌48年、中和東小に「簡易プール（組立式）」が設置されました。（湯船小は既に昭和34年にコンクリート製のプールが設置されています。）

平成3年6月

4年生以上の児童たちが簡易プールの清掃をしています。



昭和43年

父母たちが奉仕で学校に児童遊園地を造りました。斜面の遊具はロング滑り台です。この他ジャングルジムなどがありました。



昭和43年

父母たちが奉仕で遊園地を造りました。



昭和53年秋

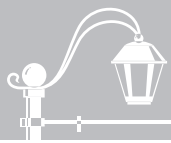
遊園地（裏山）から見る運動会のようなすです。



大声援の中、力一杯のリレー走です。

当時の懐かしい応援合戦です。





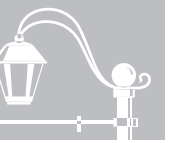
児童たちによる手作りの神輿です。裏山の遊園地で応援する保護者が見えます。



昭和42年12月

卒業記念作品のために、子どもたちが用務員のおじさんと一緒にトーテムポールを作っているようです。

みんなの笑顔が印象的です。



昭和49年

入学記念写真です。後ろに二つの校舎がつながっているのが見えます。そこを渡るのが楽しかったそうです。

(2階の渡り廊下は昭和36年に完成したものです。)



昭和54年3月

学校前通学路舗装工事（撰原区）のようすです。保護者の皆さんが子どもたちのために一生懸命舗装工事をされました。



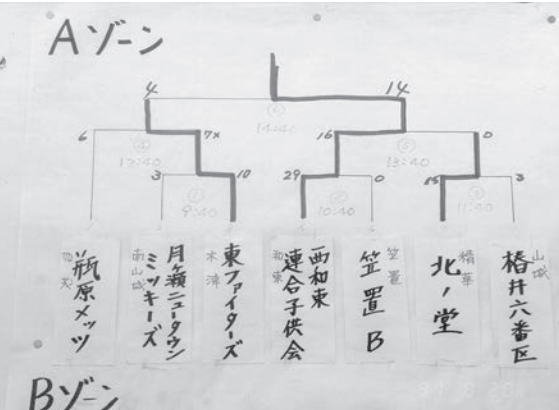
「運転手さん徐行して」と通学安全の記事が掲載されました。

(昭和55年6月10日付読売新聞)

場所は撰原通学路です。写真は工事前の児童の歩行中の写真で、2年後に京都府の工事で立派な歩道が完成しました。



平成3年8月
西和東小学校の子ども会「西和東連合子供会」が平成3年度の相楽郡ソフトボール大会で優勝しました。



Aゾーン（7チーム）のトーナメント戦でした。

「やりました！」
優勝旗とともに記念撮影



平成4年3月
西和東小学校の最後の卒業生の記念写真です。



平成3年10月
本年度で最後になる西和東小学校の児童が「にし小」の人文字を作りました。（航空写真）

4

中和束小学校



和束町大字釜塚小字縄手 30 番地

校歌

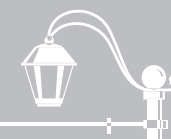
作詞・作曲 不詳

一、野山はみどりでいっぱいだ
白く浮かぶは なの花だ
きれいな流れ 和束川
みんなで仲よく お勉強

二、あの山 この谷 美しい
茶つみの歌がきこえてる
海のむこうの国々に
やさしい香りを 送みましょう

三、遠い昔の祖先から
手に手を取って働いた
町のこどもだ わたしたち
町のよい子になりましょう
世界のよい子に なりましょう

中和束小学校



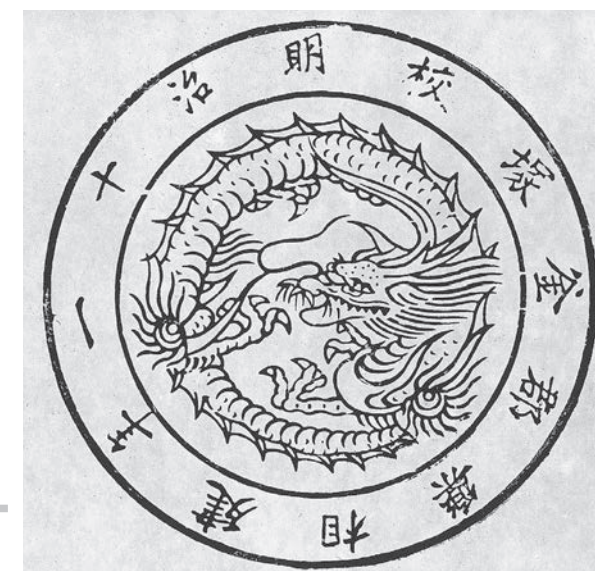
明治8年以降の「釜塚校」の瓦です。

和束で最初の小学校は 明治6年5月、製茶小屋を
改造して教場とし、釜塚校と称して開校創設され
ました。

釜塚校の校章です。

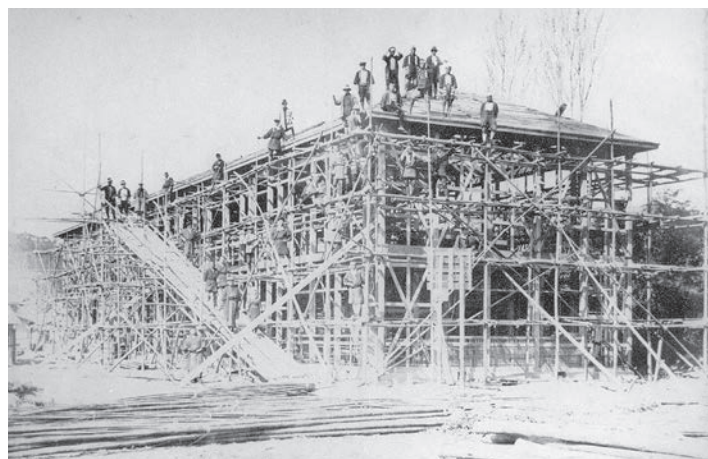
明治11年に模倣西洋造りの1棟が新築され、
その時の校章だそうです。

「明治11年建相楽郡釜塚校」



明治から昭和初期の中和束尋常高等小学校の正門。（中和束小学校・
役場改築落成記念絵はがき 大正15年）

中和東尋常高等小学校が大正15年6月に2階建て8教室として竣工されました。



中和東尋常高等小学校全景です。（中和東小学校・役場改築落成記念絵はがき 大正15年）



昭和25年

中和東小学校講堂の全景です。
当時、和東中学校には講堂が無く、主な式典等は中和東小学校の講堂を借りていました。中学校の生徒たちは講堂まで歩きました。



昭和25年度の講堂での学習発表会のようすです。古い講堂のステージのつくりです。昭和28年南山城水害の3年前の写真で、和東中学校もステージを使用していました。



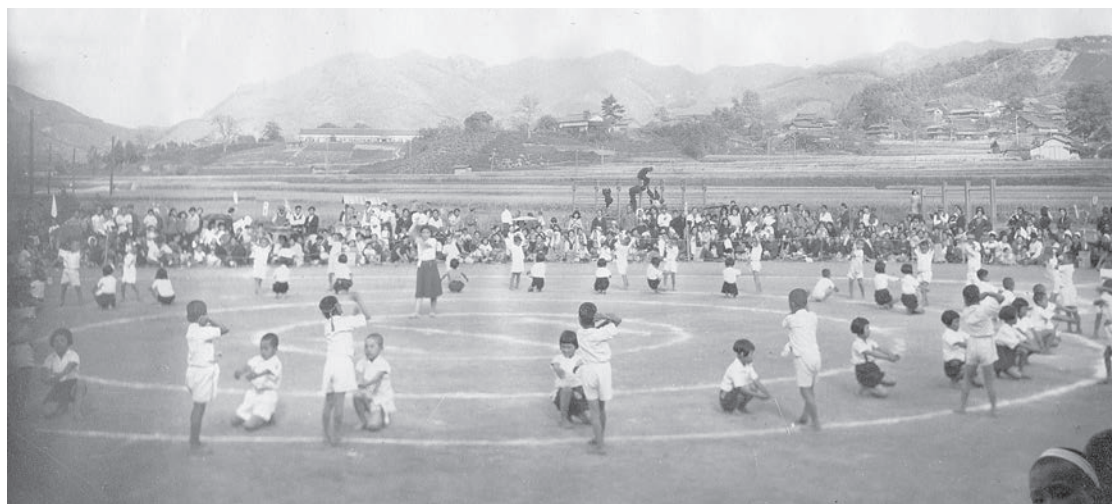
昭和23年

中和東小学校に育友会（PTA）が発足しました。育友会役員の奉仕活動のようすです。（左の写真）

昭和27年

育友会で簡易水道設置の奉仕活動をしていました。（右の写真）





昭和25年
運動会の写真のようすです。



昭和26年
徒競走で「ヨーイドン」の時でしょうか。



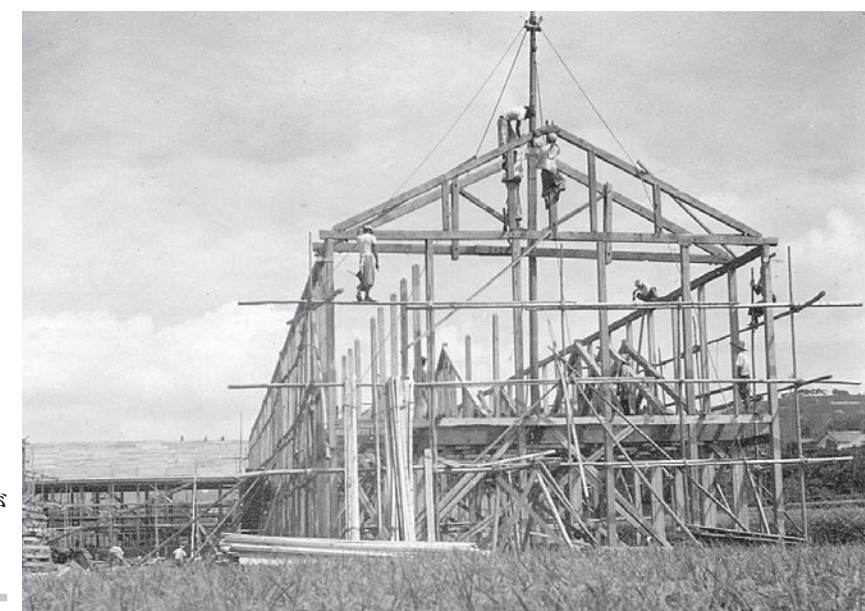
昭和28年8月の南山城水害による校舎の被災状況です

校舎は床上1メートルの浸水となり、泥土で埋まっていました。



校舎の大部分が流失破損し、当時和東中学校と木津高校に分散して授業を受けることになりました。

昭和29年4月
大水害のあと新校舎が建築されました。





昭和29年 新校舎の全景です。



自衛隊を迎える子どもたち

拡張される運動場

アンゲルブルドーザー（ブルドーザーの一種）による作業風景

南山城水害で町内全域が被災、復旧途上の中、長年要望されていた小学校運動場の拡張工事が自衛隊の助力で実現しました。

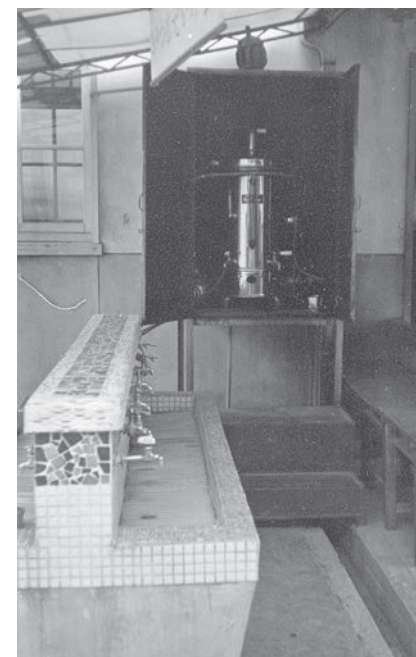


昭和33年10月 運動場拡張完成の後、記念の運動会が開かれました。



昭和40年頃

毎月1日の「安全の日」に住民への啓発も含め、鼓笛パレードが校区内を巡りました。

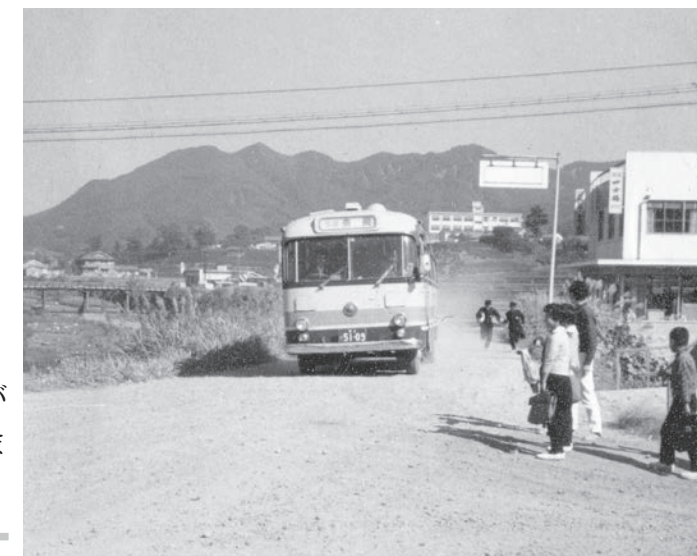


昭和37年

お茶の町として学校には、「自動湯沸し器」と「お茶飲み場」が設けられていました。蛇口からお茶の出る設備もありました。

昭和41年

小学校の集団下校のようすです。バスの運行で砂埃がモクモクと上がりました。当時の道路は未舗装でした。



集団下校のようすです。
児童は、巡査・教師たち
に見守られて下校しまし
た。



昭和54年2月
全校風揚げ大会のようす
です。

昭和55年11月
祖父母学級のようすです。



昭和55年1月
マラソン大会のようすです。

昭和56年
簡易プール老朽化のためコン
クリート製の新プールが設置さ
れました。



平成元年4月
時代が昭和から平成に移った
最初の入学式です。

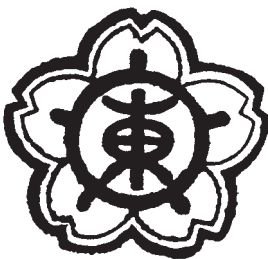


平成3年

本年度で最後になる中和東小学校の児童が「さようなら」の人文字を作りました。（航空写真）

5

東和東小学校



和東町大字園小字大塚 1 番地

校歌

作詞 石山 修

作曲 吉中 俊道

- 一、

四方の山なみ茶どこの和東

名峰鷲峰を背に仰ぎ

我等が集う学舎は

雄々しく崇くそびえ立つ

ああ希望にかがやく東和東小学校

二、

流れすがしい和東川

古い歴史を受けついで

変わらぬ姿移しつつ

学びの窓にてり映える

ああ明るい光東和東小学校

三、

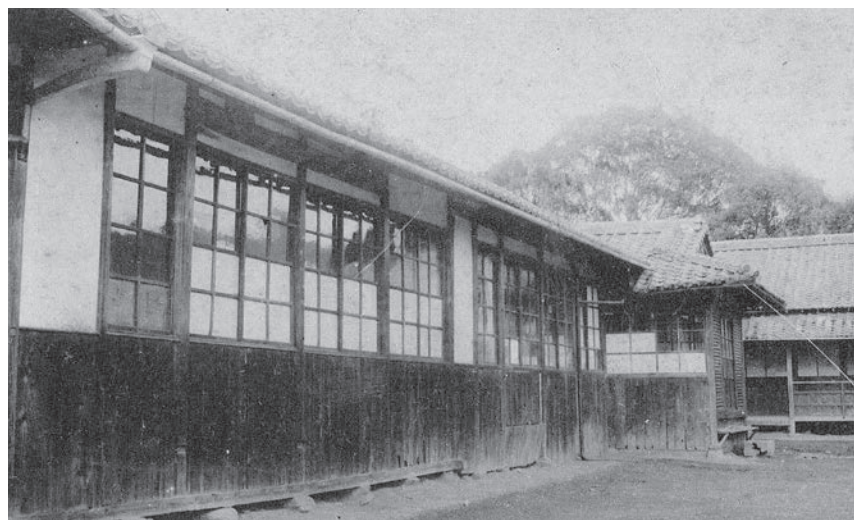
和東の里の東に

古今の精を身にうけて

うまずたゆまず一すじの

学びの道をひたぶるに

ああ健児のつどい東和東小学校



明治時代の校舎です。
旧東和東小学校は、明治9年12月に釜塚校より分かれ、園、中の組合で現在地に開校創設したのが始まりです。園校と称しました。

明治42年5月
東和東尋常高等小学校 高等科第1・2学年。
この年に校舎が増改築されました。



大正12年
この年に校地の拡張と校舎の増改築が行われました。



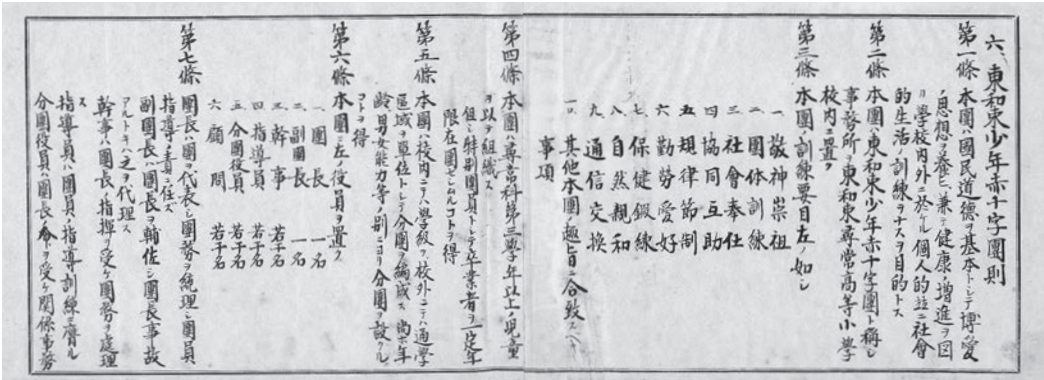
大正11年6月
校舎の前の体操のようすです。大正時代の女子の体操着がわかります。



大正15年7月
児童製茶講習会（高等科1・2学年）で
宇治製茶方講習会のようすです。

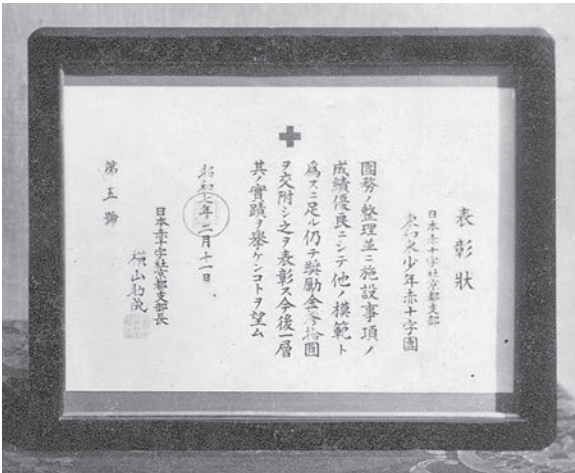
昭和3年5月
献上茶摘奉仕（献上するお茶を摘んでいる）ようすです。





東和東少年赤十字団則

東和東小学校には、大正12年～昭和10年の少年赤十字団の記録が残っています。児童が赤十字の精神に基づき、地域社会や世界のために奉仕し、さまざまな活動を学校教育の中で展開していました。



表彰状 昭和7年2月11日
日本赤十字社京都支部長から東和東少年赤十字団へ、地域社会等への貢献を評して贈られています。

昭和10年以前の子どもたちによる道路修繕のようすです。



子どもたちによる茶の実拾いです。



昭和7年2月
神社奉仕。天満宮の参道を竹ぼうきで掃く子どもたちのようすです。

海人草（マクリ）服用（虫くだし）を飲んでいるようすです。





昭和4年2月
修学旅行の記念写真です。
(伊勢二見ヶ浦)

昭和27年
子どもたちによる田植え。
天満宮横の水田です。



昭和47年頃
男子の組体操。当時は「ピ
ラミッド」もありました。



昭和42年10月
班長が持つ黄色い安全旗

交通安全教室



集団下校のようすです。
上級生は手提げかばんを持っています。今は全学年がランリュックです。



昭和47年2月
授業参観。教室内のストープがその時代を表しています。



昭和51年
東和東小学校創立百周年記念式典。門前区に縁のある落語家の笑福亭仁鶴さんたちが記念アトラクションに出演、多くの観客を魅了しました。

昭和57年度
祖父母学級で「稲わら細工」の授業が行われ、祖父母と一緒に縄をなう姿が懐かしいです。



当時の運動会での点火のようすです。



昭和50年代
当時の応援合戦です。



「僕らは風の子、元気な子」 のぼり棒に登っているようすです。



昭和48年に「走ろう会」が結成、以来毎年続けられ、北海道往復を走破したことが新聞に載りました。

(昭和56年3月京都新聞)



昭和54年3月
卒業式の会場風景です。布張りの長イスがなつかしいです。

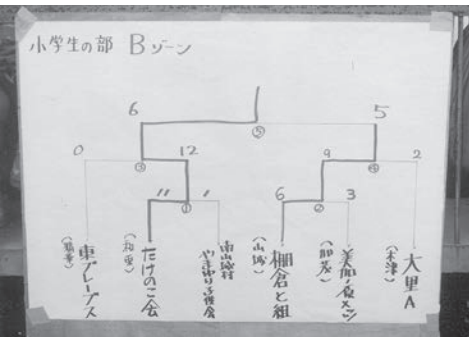
昭和54年3月 卒業式
鼓笛隊に送られるようすが良いです。母親の着物の装いは、限られた期間のみに流行ったように聞いています。



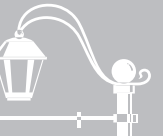
ソフトボールチーム「たけのこ会」が新聞で紹介されました。

(昭和60年7月15日付京都新聞)

小学生の部 Bゾーン
たけのこ会 優勝



平成3年
本年度で最後になる東和東小学校の児童が「さらば 東和東小」の人文字を作りました。(航空写真)



6

湯船小学校



和束町大字湯船小字五ノ瀬 250 番地

校歌

作詞 糸岡 正一
作曲 福本 正

一、常盤なる緑の山にこだまして
観学の鐘鳴り亘る
今日もまた
たくましく
学びの道に
邦家の栄に培かいて
明日の文化を担うまで

二、和束川水上清く澄むところ
二葉伸びゆく 湯船校
明日もまた
和かに
学びの業に
共に力を協せつつ
世に福祉に尽くすまで



旧湯船小学校は、明治7年に寺院を仮校舎として開設されました。同8年に五ノ瀬290番地に校舎としましたが、同42年に校地を250番地に定め校舎を建築されました。



大正3年
旧校舎の前での記念撮影です。

昭和4年

昭和天皇の大嘗祭に旧小学校校舎前での記念撮影です。



集合写真の後ろの校舎は和東中学校湯船分校です。右側に「中学校観測所」の看板が見えます。

湯船中学校は、昭和22年5月、湯船小学校の一部を借りて授業が開始されました。

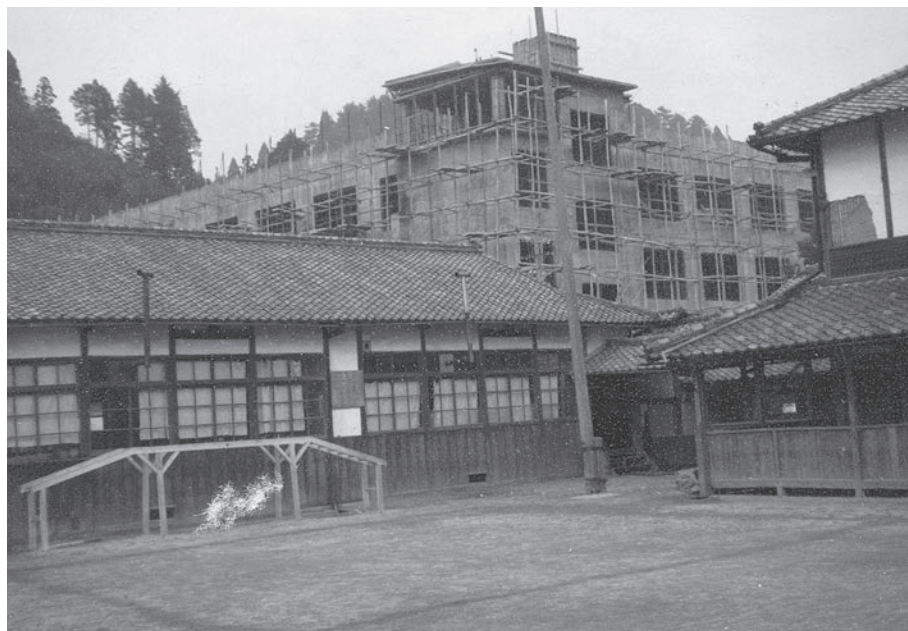


昭和の頃

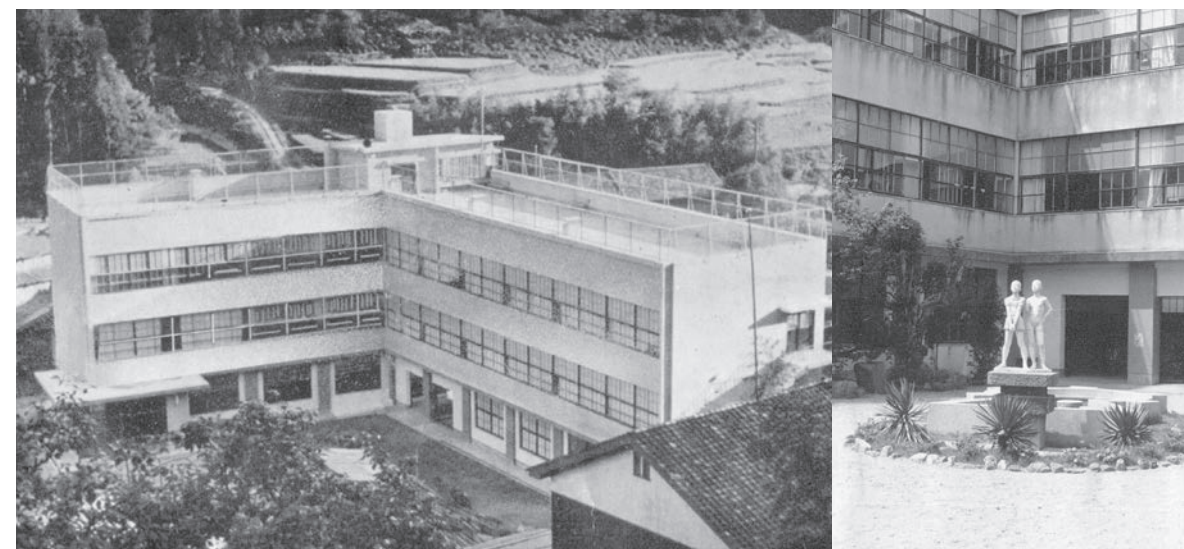
子どもたちが七輪の火に当たっています。写真の左手前に写っているのは達磨ストーブです。

昭和33年9月

新校舎が起工されました。



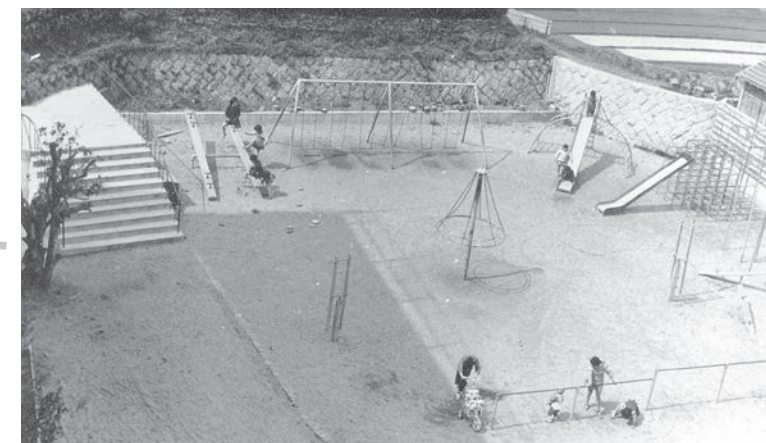
工事中の校舎です。

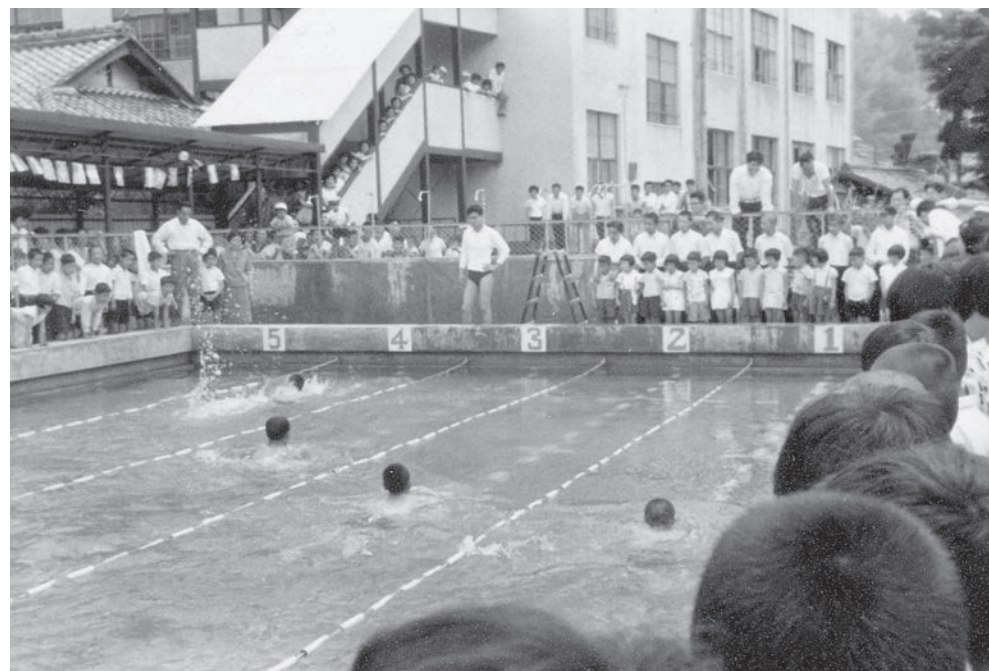


昭和34年9月

鉄筋3階建ての校舎が完成しました。中庭には「仲良し像」があります。

給食室が建つ前の風景です。





昭和34年
新校舎に続きプール（25m 5コース）が完成しました。



プール教室。プールサイドに集う児童たちの姿です。



昭和30年代後半
プール掃除のようすです。当時、本格的なプールがあったのは湯船小学校だけでした。

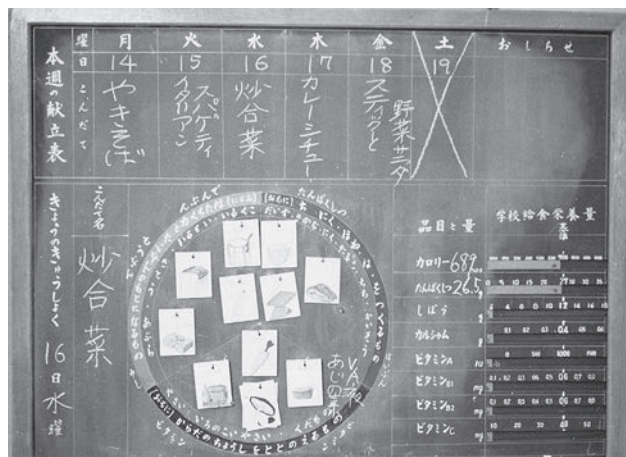


昭和38年
立派なランチルーム付きの給食室が完成しました。全校児童が楽しく給食を食べています。



当時、各新聞では、「デラックス給食室 運搬、食器洗いも自動化」などと大きく紙面で取り上げられました。
(昭和38年5月26日付毎日新聞)

給食はベルトコンベヤで運ばれてきます。



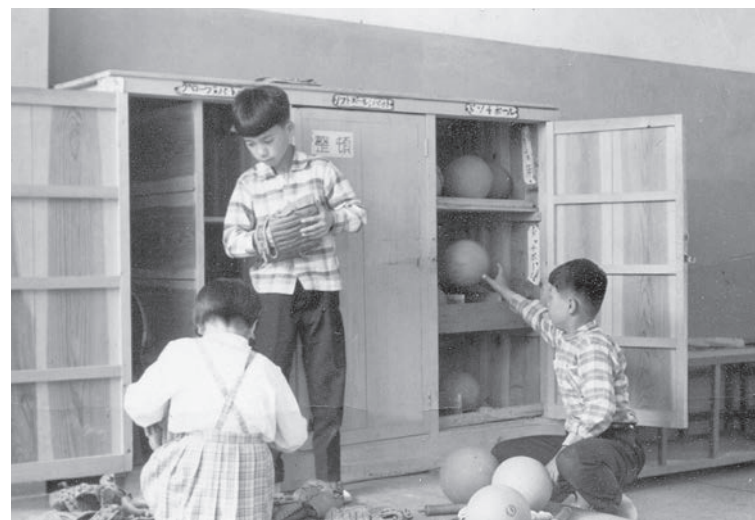
献立板。1週間の献立が黒板に書かれています。

給食当番の児童のようすです。

ミルクポットから牛乳を注いでいます。初めは配膳されて調理室からベルトコンベヤで運ばれていましたが、後に児童が活動として給食を配膳することになったようです。



学校生活のようすです。運動用具の整頓でしょうか。木で作られた用具入れが時代（昭和）を感じます。



昭和30年代後半
運動会のひとこまです。当時は、小学校の運動会と合同で区民運動会が行われていました。



運動会では鉄棒や跳び箱も使われていました。鉄棒は移動式のものです。





跳び箱が使われています。

たるまくり（たる転がし）です。



青年団による単車（バイク）の行進風景が興味を引きます。



昭和56年
運動会の鼓笛隊のようすです。



湯船小学校が鼓笛を取り入れたのは昭和38年でした。



昭和61年秋
宮司さんを先頭に子ども神輿が区内を歩きます。

子ども神輿です。



昭和61年10月

子どもたちと区内の人たちがゲートボールを楽しんでいるようすです。



昭和61年冬

音楽会のようなすです。みんなで楽しく演奏しました。



平成3年

本年度で最後になる湯船小学校の児童が「さようなら 湯船小」の人文字を作りました。(航空写真)

○小学校制度の変遷

年 月	西暦	事 項
明治 5 年 8 月	1872	学制が公布され、学校制度が始まり、小学校が開設される。
明治19年 4 月	1886	小学校令を公布し、尋常小学校 4 年制と高等小学校 4 年制とし、尋常小学校修了までを義務教育期間とした。
明治33年 9 月	1900	小学校令を改正し、 4 年制の尋常小学校を義務教育とし、 2 年制の高等小学校を併設することを奨励した。また、義務教育 4 年間は無償とした。尋常高等小学校と称することとなる。
明治40年 3 月	1907	義務教育が 6 年間となり、尋常小学校 6 年制と高等小学校 2 年制となった。
昭和16年 4 月	1941	国民学校と改称される。
昭和22年 4 月	1947	名称が小学校となり、小学校 6 年制、中学校 3 年制の義務教育が始まる。

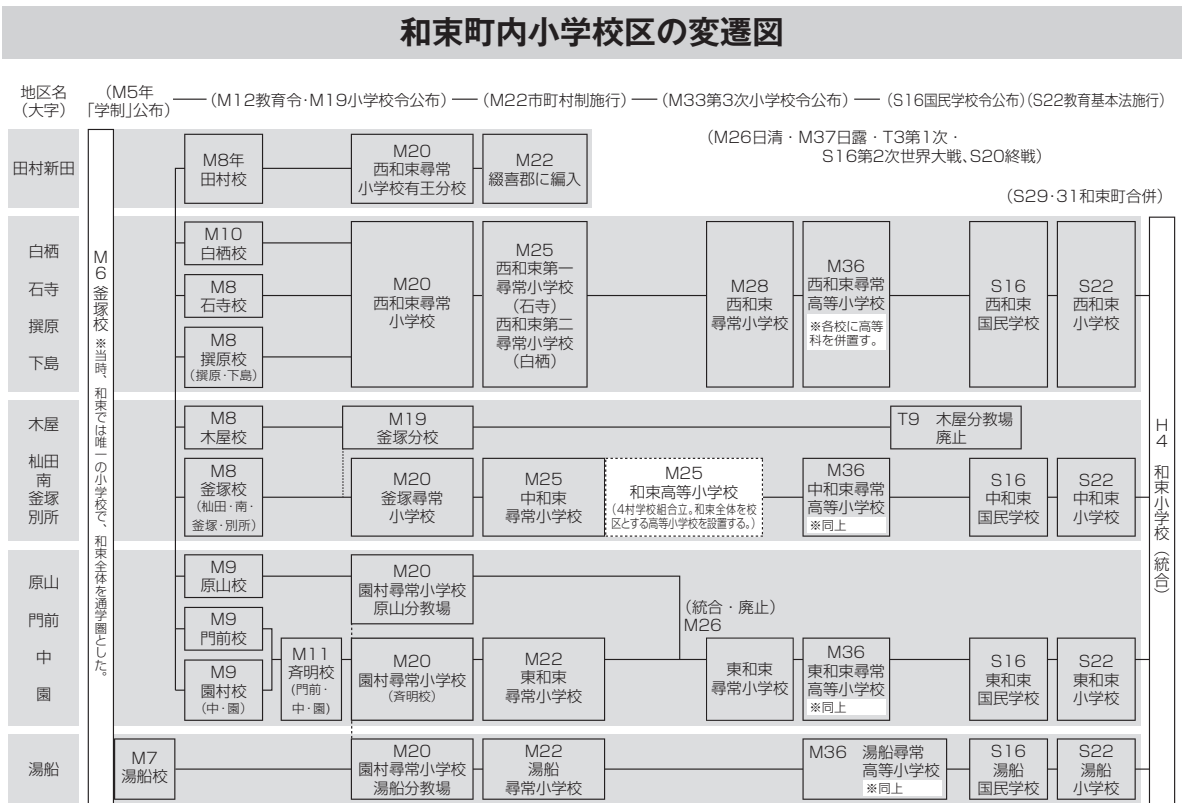
西和束小学校の歴史

年 月	西暦	事 項
明治 8 年 5 月	1875	撰原校(校区撰原、下嶋)、石寺校、白栖校、田村校（田村新田）を設置する。
明治20年 6 月	1887	撰原、石寺、白栖、田村 4 校を合併し、西和束尋常小学校とし石寺に設置する。
明治22年 7 月	1889	市町村制施行により、田村新田を綴喜郡に編入する。
明治25年12月	1892	西和束校を廃し、西和束第一尋常小学校を石寺に、西和束第二尋常小学校を白栖に設置する。
明治28年 6 月	1895	第一校、第二校を合併し、西和束尋常小学校とする。
明治36年 4 月	1903	高等小学校を併設し、西和束尋常高等小学校となる。
昭和16年 4 月	1941	西和束国民学校と改称する。
昭和22年 4 月	1947	西和束小学校と改称する。
平成 4 年 4 月	1992	和束小学校に統合される。

中和東小学校の歴史		
年 月	西暦	事 項
明治 6 年 5 月	1873	釜塚校を設置する。場所は、大字釜塚小生字水25番地。当時、和東では唯一の小学校で、和東全体を校区とした。
明治 8 年 5 月	1875	木屋校を設置する。
明治19年 4 月	1886	木屋校を、釜塚校の分校とする。のち分教場と改める。
明治20年 7 月	1887	釜塚尋常小学校と改称する。
明治25年10月	1892	釜塚校を中和東尋常小学校と改称する。
明治25年11月	1892	尋常小学校内に和東全体を校区とする高等小学校を設置する。
明治36年 4 月	1903	各尋常小学校に高等小学校が併設される。中和東尋常高等小学校と改称する。
大正 9 年 4 月	1920	木屋分教場を廃止する。
昭和16年 4 月	1941	中和東国民学校と改称する。
昭和22年 4 月	1947	中和東小学校と改称する。
平成 4 年 4 月	1992	和東小学校に統合される。

東和東小学校の歴史		
年 月	西暦	事 項
明治 9 年 4 月	1876	門前校を設置する。
明治 9 年12月	1876	園と中を校区に、園村校を設置する。後の東和東小学校の場所。
明治 9 年	1876	原山校を設置する。
明治11年 7 月	1878	園村校と門前校を合併し、斉明校と改称する。
明治20年 9 月	1887	斉明校を改め、園村尋常小学校を設置し、原山校、湯船校を分教場とする。
明治22年 7 月	1889	園村校を東和東尋常小学校と改称する。湯船分教場を分離し、湯船尋常小学校と改称する。
明治26年	1893	原山分教場を、東和東尋常小学校に統合する。
明治36年 4 月	1903	高等小学校を併設し、東和東尋常高等小学校となる。
昭和16年 4 月	1941	東和東国民学校と改称する。
昭和22年 4 月	1947	東和東小学校と改称する。
平成 4 年 4 月	1992	和東小学校に統合される。

湯船小学校の歴史		
年 月	西暦	事 項
明治 7 年10月	1874	湯船校を、寺院を仮校舎として開設する。
明治 8 年10月	1875	湯船校を設置する。現在の湯船会館の場所。
明治20年 9 月	1887	園村尋常小学校の設置に伴い、湯船校はその分教場となる。
明治22年 7 月	1889	湯船村村制施行により、湯船分教場を改め、湯船尋常小学校とする。
明治36年 4 月	1903	高等小学校を併設し、湯船尋常高等小学校となる。
昭和16年 4 月	1941	湯船国民学校と改称する。
昭和22年 4 月	1947	湯船小学校と改称する。
平成 4 年 4 月	1992	和東小学校に統合される。



おわりに

今回の写真編集にあたり、私たちは、当時の4校を知る世代、統合された「和東小学校」だけを知る世代で構成されました。さまざまな世代の意見を取り入れながら、編さん室が保存している写真や町民の方々から寄せられてきた写真から、選択して写真集を作る作業の協力をさせていただきました。

多くの写真に目を通し、写真1枚に思い出話に花が咲きました。また、選ぶことの難しさもあり、時間は過ぎるばかりでした。何日も編さん室に通いながらも作業が続けられたのは、写真を見て新しい発見や言葉では表現できないほどのいくつもの感動に出会えたからだと思います。

この写真集は、次世代に4校の歴史・思い出を伝えるきっかけであり、私たちの先輩方が残された足跡、私たちが刻んだあの時を思い出させてくれるものです。その確かで尊い時間を包んでくれた旧小学校に思いを馳せ、過ぎた時に光を当てる。そんな写真集であればよいなと思います。(文責F)



和東町史編さん室にて

写真集作成メンバー(敬称略)

林 辰 男
竹 内 きみ代
中 川 桂 子
藤 井 祥 太

写真等提供者・協力機関・協力者(50音順・敬称略)

荒木 一由、池田 恭子、中井 寛次、西川 正俱、藤原 光洋、堀 貴美子、前田 久代、

相楽東部広域連合教育委員会・和東小学校、和東町

その他、貴重な資料と写真をご提供いただいた皆さま、貴重な思い出をお話いただいた皆さまにお礼申し上げます。

古写真から見る「和東の小学校」のうつりかわり

発行日 令和5年(2023年)3月31日

編集 相楽東部広域連合教育委員会 生涯学習課 和東町史編さん室
TEL 0774-74-8952 FAX 0774-74-8953

発行 相楽東部広域連合教育委員会
〒619-1205 京都府相楽郡和東町大字中小字平田23-1
TEL 0774-78-4335 FAX 0774-78-4338
ホームページ <http://www.union.sourakutoubu.lg.jp>

印刷 共同精版印刷株式会社

